

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 嶋村 伸子

| | | | | |
|---------------|--------------------------------|----|---|----------------------|
| 日時 | 2025年9月21日(日) 10時00分～15時00分 | 天候 | 晴 | コース名： 第57回よりみちクラブ |
| 案内団体又は 催事名 | 大和大納言（豊臣秀長）ゆかりの地を巡る | | | 人数 大人：18名 |

集 合： 近鉄郡山駅東口

解 散： 近鉄郡山駅

ガイド： ならなぎ会員 山下さん

行 程： 近鉄郡山駅→大納言塚→大織冠の楠→大織冠鎌足神社→天守台ビューポイント→郡山城情報会館（昼食）→追手門→城址会館→本丸ビューポイント→柳澤文庫→極楽橋→柳澤神社→天守台→伝羅城門礎石・逆さ地藏→春岳院→本家「菊屋」→紺屋川・箱本館「紺屋」→源九郎稻荷神社→洞泉寺→近鉄郡山駅

出席者： ・山下（ガイド） ・玉尾洋 ・堀内け ・武田 ・上森 ・嶋田 ・北川 ・嶋村
・玉尾ひ ・奥山 ・吉川 ・高橋 ・田中（和） ・山田（一） ・池田 ・中谷
・竹山 ・近野 計18名・・・順不同・敬称略

◆来年放送されるNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」が話題となり、前回雨で中止となった本コースにたくさんのリクエストがあり、今回ならなぎ会員山下さんの案内で実施することになった。猛暑が続き、ようやく朝晩がしのぎやすくなったが、まだまだ・日向は暑い中、郡山在住の山下さんの詳細、丁寧な説明に、皆さん熱心に聞かれていた。

「豊臣秀長とは」

1540年（天文9）に秀吉の三歳年下として、尾張国愛知郡中村に生まれた。

そののち、秀吉に従い各地を転戦し軍功をあげた。

1587年（天正15）大納言に叙せられたが、郡山入城後わずか6年あまりで病死（1591年1月）大納言塚に葬られた。

「大納言塚」

1591年没した秀長はここに葬られた。

「大織冠の楠」

大織冠・藤原鎌足を祀る多武峰（談山神社）は郡山の鎮守として、この楠のある丘陵に遷座していた。樹齢500年以上と推定される。

「大織冠鎌足神社」

鎌足公のご神霊を城の西北に遷座した。

「郡山城跡」

郡山城跡は安土桃山時代の野面積み石垣が良好な状態で残る。石垣に寺院の礎石、石仏など多数の転用石が使われている。

「追手門」

昭和58年～62年に築城当時に近い形で再建された。

「城跡会館」

奈良県最初の県立図書館。昭和43年に現在地に移された。

「柳澤文庫」

江戸中期から郡山藩主を務めた柳澤歴代当主の書画や、古文書を所蔵。

「極楽橋」

本丸を守る内堀に掛けられた橋。令和3年に再建。

「柳澤神社」

柳澤吉保を祀る。

「天守台」

幻の天守と言われてきたが、平成26年の発掘調査で礎石が確認された。
豊臣政権期には四層から五層の天守があったと思われる。

「伝羅城門礎石・逆さ地藏」

天守台の北東裾には、「伝羅城門礎石・逆さ地藏」がある

「春岳院」

秀長公の菩提寺

「本家菊屋」

創業400年余りの和菓子の老舗（城之口餅が有名。）

「紺屋町・箱本館(紺屋)」

秀長公の特許状により、奈良盆地の藍染は江戸時代を通し大和郡山の紺屋町でしか営業できなかった。
箱本館(紺屋)は藍染商の町屋を再生した観光施設。

「源九郎稻荷神社」

歌舞伎文楽の（義経千本桜）に登場する「源九郎狐」を祀る神社。

「洞泉寺」

秀長が建立。三河の洞泉寺から移された。

本尊は快慶作と伝わる阿弥陀三尊立像。

境内には、光明皇后が民衆の病氣平癒の為に作らせたと伝わる「垢かき湯舟」と「垢かき地藏」がある。

所感等

涼しくなったとはいえ、まだまだ日中は暑い中、山下さん、詳しい説明ありがとうございました！
みなさんも、お疲れ様でした。

＊＊ 蛇が池と尼が池の伝説で、蛇が池で、郡山城主となり、軽率なふるまいをした若殿は
秀長公ではなく、養子の秀保公ですので、お間違い無く！ ＊＊

特記事項

特になし

